

県立教育研修所 感染防止対策ガイドライン

1 研修当日まで

(1) 受講者に向けての事前アナウンス

「受講者へのお願い」を、研修の実施要項等とともにHPに掲載する。

(2) 研修室の人数・座席配置等

※感染状況等を勘案し、適時修正を行う。

① 講師と受講者の間は2m以上空ける。

※講堂以外を会場とした講義では、講師はマスクを着用することとし、マスクを外すことを希望される場合は、アクリル板を使用する。机間指導を行う場合は、講師にマスクの着用を求める。

(3) 研修（協議）方法の検討

飛沫の飛散を抑制するための方策を講じて研修を運営する。特に、協議を行う際には、感染状況のステージ等を勘案し、慎重な対策かつ効果的な方法を検討する。

(例)・マスク着用の上、受講者間の距離を1m以上確保

- ・長時間、近距離で対面形式となるグループワークの回避
- ・ICTを活用して協議内容を焦点化し短時間で協議が深まる手法を工夫
- ・ホワイトボードで意見を可視化し、合意形成や課題解決を促進する手法を工夫

(4) 昼食関係

① 受講者の間にアクリル板を設置する。

② 座席に番号を貼り、座席を指定して使用する。(弁当と紙パックのお茶を提供)

③ 210名以上の利用がある場合には、消毒後受講者を入れ替える。

④ 講座の日程表を作成する際は、「使用室表 確認用.xlsx」にて、同日に他の講座が重なっていないかどうかを必ず確認する。講座が重なっている場合、担当課間で昼食時間と場所の調整を行う。

(5) 消毒

① 建物出入り口、食堂出入り口、講堂前、各研修室に消毒液を設置する。

② iPadやホワイトボードマーカー等の物品は、消毒して受講者各自に用意する。物品を各自に用意することが難しい場合は、除菌シートを用意しておく。

(6) 掲示物

① 密を避けるため、受付で並ぶ位置、食堂で並ぶ位置等、受講者の動線を示す。

② トイレ、食堂、休憩スペースに注意事項を掲示する。

(7) その他

① 研修室の受講者の入れ替えは原則として行わない。やむを得ず入れ替えを行う場合は、机・座席等の消毒を行う。

② 講師・発表者への事前連絡時に、体調がすぐれない場合等は来所を見合わせていただくよう伝えておく。(この際代替案も考えておく)

2 研修当日

(1) 受付

- ① 非接触体温計により受講者の検温を行う。37.5 度以上（平熱+0.5 度以上）の場合は、救護室の接触体温計で再度検温を行い、発熱など風邪症状が見られる場合は、担当課から当該学校長に連絡の上、受講を断る（発熱等風邪症状がある場合は来所しないよう予め案内）。
- ② マスクをしていない受講者には着用を呼びかけ、持参していない場合は、マスクを購入してもらう。（裕さん販売）

(2) 受講者に向けてのアナウンス

「受講者へのお願い（オリエンテーション用）」に基づいて注意喚起。ただし、開講式では最重要・徹底事項のみ伝える。

(3) 研修

- ① 担当者はマスクを着用し、研修前に手指の消毒を行う。
- ② 24 時間換気のスイッチが入っていることを確認し、2 方向の窓を開けたまま行う（10cm から 20cm 程度が目安）。天候等により常時換気が難しい場合には、30 分に 1 回以上、少なくとも休み時間毎に数分間窓を全開にして換気を行う。
- ③ 質疑応答等でマイクを使う場合は、使用の度に消毒する。
- ④ 食堂（研修室での昼食時）や休憩スペース、トイレ等においても換気を行う。
- ⑤ 感染防止対策の確認
各課の課長・班長は、研修中の計画的な巡回により、感染防止対策の実施を図る。
- ⑥ 研修終了後、「消毒箇所チェックリスト」により会場、物品の消毒を行う。翌日他の研修が入っていない場合は、翌日に行ってもよい。

消毒の分担は下表を原則とする。講堂の消毒（翌日に研修が入っていない場合）等、ワークセンター職員等に協力を依頼する場合は、1 週間前までに総務課に伝える。ただし、協力いただけるのは月～木曜日のみ（金曜日は要相談）。消毒に用いたクロスの洗濯は、ワークセンター職員に依頼する。（研修課準備室の「使用済」の段ボール箱に入れる。洗濯したものは、「洗濯済」の段ボール箱に入れていただける。）

場 所	担 当
食堂、トイレ、階段の手すり等の共用部分	清掃職員
食堂利用者を入れ替えるとき	企画で割り振り（担当課以外の課）
講堂、研修室、iPad 等使用物品、アクリル板	講座担当課を中心とした所員

3 サポート研修

- ① 担当者は、マスクを着用し、研修前に手指の消毒を行う。先方の物品を使用した後は除菌シート等で消毒する。
- ② ICT 機器等を持ち込む場合は、研修の前後に消毒を行う。
- ③ 実施校に下記の内容を事前に伝える。
 - ・ 講師と受講者の間を 2 m 以上空け、密にならないように座席を配置してもらう。
 - ・ 協議を行う際には、感染状況のステージ等を勘案し、慎重な対策かつ効果的な方法を検討する。